

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年6月21日
事業者名:	株式会社登昭建設

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	登昭建設では、太陽光を使用したクリーンエネルギーを自家発電しつつ、断熱性能を高める事による省エネルギー環境を整えた「省エネ住宅」をご提供する事で「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」のSDGs活動を実施しています	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	業務として、岐阜で住宅をご検討のお客様に、太陽光を使用したクリーンエネルギーを自家発電しつつ、断熱性能を高める事による省エネルギー環境を整えた「省エネ住宅」をご提案し、2023年度では、年間5件以上の住宅を建設しております。	指標	省エネ住宅の普及
				目標	2030年までに、年間10件以上の省エネ住宅の普及を目標とする。
社会	「健康住宅」をコンセプトに多くのお施主様に健康に過ごせる住宅をご提供を行う事で「3. すべての人に健康と福祉を」のSDGs活動を実施。高気密・高断熱で未病で健康的に過ごせる健康住宅は、全ての住宅でUa値0.6、気密性能値0.6を実現しています。	③すべての人に健康と福祉を	2023年度に施工した住宅の全てにおいて、Ua値0.6、気密性能値0.6を実現	指標	Ua値0.6、気密性能値0.6での住宅の施工率
				目標	2030年までに、Ua値0.6、気密性能値0.6の施工率100%を維持。
経済	「8. 働きがいも経済成長も」のSDGs活動として、ワークライフバランスの充実の為に登昭建設では、社内規則を作成し、私生活を充実できるように様々な施策に取り組んでおります。私生活が充実する事により働く意欲も増加し、経済成長に繋がる取り組みと考えております。特別休暇制度の設定。毎月最終金曜日にプレミアムフライデーの実施等を行っております。	⑧働きがいも経済成長も	2024年4月から、社内規則を変更・記述化し、特別休暇制度の設定。毎月最終金曜日にプレミアムフライデーを実施。	指標	従業員の働き方の変更、ワークライフバランスの重視に伴う働きがいの満足度の上昇
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価（1が最低5が最高）をしてもらい、平均4点以上を目標とする。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>  ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。  SDGsの取り組みについての特設ホームページ： <a href="https://design-p.com/tosho/">https://design-p.com/tosho/</a>			